

日本藻類学会第 38 回大会 船橋 2014



学会会長 田中 次郎
大会会長 宮地 和幸

東邦大学 習志野キャンパス
(〒 274-8510 千葉県船橋市三山 2-2-1)

2014 年 3 月 14 日 (金) ~ 16 日 (日)

1. 会場までの交通

大会会場の東邦大学習志野キャンパスは、JR 津田沼駅下車、北口4番・5番バス乗り場から「三山車庫」「二宮神社」「八千代台駅」「日大実習」行きのいずれかに乗車。約10分「東邦大学前」下車。JR 津田沼駅方面へお帰りの際はバス停「大久保十字路」をご利用下さい（図1）。

京成本線からのアクセスの場合、「京成大久保駅」下車、徒歩約10分です（図1）。

JR 津田沼駅までは、東京より総武線快速（何処行きでも可）で約25分、または秋葉原或いは錦糸町の総武線各駅停車で約40分です（図1）。

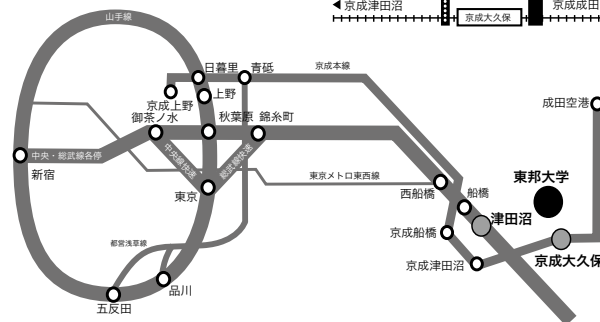
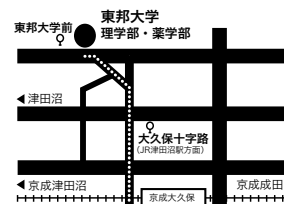


図1 大会会場までのアクセス

2. 会場 東邦大学 習志野キャンパス (図2, 3)

編集委員会・評議員会：理学部 III 号館 2 階 204 教室

受付：理学部 III 号館 1 階

大会本部：理学部 III 号館 2 階 201 教室

口頭発表会場：A 会場 (III 号館 2 階 205 教室), B 会場 (III 号館 3 階 305 教室)

ポスター発表会場：理学部 V 号館 2 階階 5201 教室から 5205 教室

シンポジウム会場：S 会場 (理学部 V 号館 1 階 5101 教室)

総会：S 会場 (理学部 V 号館 1 階 5101 教室)

休憩室：理学部 III 号館 2 階 202 教室, 3 階 302 教室, 理学部 V 号館 2 階 5208 教室

クローク・試写室：理学部 III 号館 2 階 204 教室

懇親会：学生食堂 (パル)

公開講演会：薬学部 C 棟 1 階 C101 講義室

関連集会「アルガムービー鑑賞会」：理学部 III 号館 2 階 203 室

ワークショップ「淡水藻類の採集、観察と同定入門」3月16日講義編：理学部 V 号館 2 階 5209 室

3月17, 18日実習編：理学部 II 号館 生物学科顕微鏡実験室 2308 室

※理学部 III 号館の A 会場, B 会場から理学部 V 号館の P 会場 (ポスター会場) や S 会場に移動する際には、建物の外に出て、それぞれの建物に移動することも出来ますが、外に出なくとも移動できます。理学部 III 号館 2 階の東側、即ち理学部 IV 号館側に移動し、廊下伝いに理学部 V 号館側左に折れますと、理学部 V 号館に行けます (図2 参照)。

3. 日程

2014年3月14日 (金)

15:00-16:30 編集委員会 (理学部 III 号館 2 階 204 教室)

16:30-18:00 評議員会 (理学部 III 号館 2 階 204 教室)

17:00-20:00 アルガムービー鑑賞会 (理学部 III 号館 2 階 203 室)

2014年3月15日 (土)

9:30-12:30 口頭発表 (A 会場)

9:30-12:15 口頭発表 (B 会場)

12:30-13:30 昼休み

13:30-14:30 ポスター発表 (奇数番号) (理学部 V 号館 2 階 5201 ~ 5205 教室)

14:35-17:15 シンポジウム (理学部 V 号館 1 階 5101 教室)

17:15-18:15 総会 (理学部 V 号館 1 階 5101 教室)

18:30-20:30 懇親会 (学生食堂 パル)

2014年3月16日 (日)

9:30-12:30 口頭発表 (A, B 会場)

10:00-12:30 公開講演会 (薬学部 C 棟 1 階 C101 講義室)

12:30-13:30 昼休み

13:30-14:30 ポスター発表 (偶数番号) (理学部 V 号館 2 階 5201 ~ 5205 教室)

14:45-15:45 口頭発表 (A 会場)

14:45-16:30 口頭発表 (B 会場)

※春休み中なので、学生食堂パルは休業中です。京成大久保商店街の各種レストランや食堂が利用できます。当日、レストラン・食堂・居酒屋マップを配布しますが、参加者全員を賄うほどの席数のあるレストランが少ないので、弁当を用意します。そこで、弁当の事前予約を募集しますので、参加申込書で申し込みをして下さい。

4. 参加受付（理学部 III 号館 1 階，図 2）

受付時間：3 月 15 日（土） 8:30-15:00
3 月 16 日（日） 8:45-12:30

当日参加を受け付けます。参加申込票はできるだけ 1 週間前までにメールでご送付下さい（宛先 jsp2014.funabashi@gmail.com，参加申込票は <http://sourui.org/taikai-38/taikai-38.html> からダウンロードできます）。

5. クローク（理学部 III 号館 2 階 204 室，図 2，3）

以下の時間に荷物をお預かりします。

3 月 15 日（土） 8:30-18:15
3 月 16 日（日） 8:30-16:00

6. 編集委員会・評議員会（理学部 III 号館 2 階 204 室，図 2，3）

編集委員会：3 月 14 日（金） 15:00-16:30
評議員会： 同 16:30-18:00

7. 関連集会「アルガムムービー鑑賞会」

内容：多くの藻類学研究において、ムービーを用いた観察や解析が増えています。しかしながら、紙媒体の論文では、データになったとしても、ムービー自体はサプリメントデータとして、埋もれてしまうのが現状です。また、直接、研究成果に結びつかなくても、他の人が見たことがないような藻類映像をパソコンの中に眠らせてしまっている研究者も多くいると思います。このような、発表済／未発表映像を、一斉に会員同士で鑑賞して、ムービーを用いた観察の有用性を理解し、観察技術の共有を行うことで、藻類学研究の更なる発展を目指します。

コンピーナー：土金 勇樹（日本女子大）、早川 昌志（神戸大学）

日時：3 月 14 日（金） 17:00-20:00

会場：理学部 III 号館 2 階 203 室（図 2，3 参照）

参加費：無料，ドリンク有料

問い合わせ先：土金 勇樹（日本女子大学） E-mail: algalmovie@gmail.com

8. ワークショップ「淡水藻類の採集，観察と同定入門」

内容：淡水藻類の基礎的な採集方法，観察方法及び代表的な藍藻，珪藻，緑藻等の同定方法を学びます。採集は東邦大学構内或いは周辺の池等に限り，参加者の皆さんが普段調査をされている湖水を持参していただき，それを観察します。代表的な湖である霞ヶ浦，琵琶湖，宍道湖の湖水も観察予定です。

対象：このワークショップの内容に興味・関心がある方。アセスメント関係会社や県の環境研究所等の研究員の初心者の方をイメージした企画です。藻類学会員である必要はありません。

定員：20 名

講師：新山 優子（国立科学博物館）藍藻担当，辻 彰洋（国立科学博物館）珪藻担当，大谷 修司（島根大学）緑藻担当

日程：3 月 16 日（日） 15:00 より「講義編」（理学部 V 号館 2 階 5209 教室，図 2，3 参照）

3 月 17 日（月），18 日（火）「実習編」（理学部 II 号館 生物学科顕微鏡実験室 2308 室，図 2 参照）

参加費：消耗品費等，場合によって交通費

責任者・問い合わせ先：大谷 修司（島根大学） E-mail: ohtani2458@gmail.com

9. エクスカーション「東京湾多摩川河口干潟アサクサノリ観察会」

3 月 17 日（月） 10：20 大師河原干潟館集合（京浜急行大師線東門前駅から徒歩 7 分 ※ 駐車場はありません）～アサクサノリ生育地へ行き，観察（片道 2.5 km 徒歩 30 分）～干潟館に戻り，昼食・採集物の処理等～ 15：00 頃終了

参加費：無料

申込先：菊地 則雄 E-mail: kikunoriumi@gmail.com（FAX で申込の場合「千葉県立中央博物館分館海の博物館 菊地宛」と明記し 0470-76-1821 まで）

10. 発表形式

(1) 口頭発表

時間：発表 12 分，質疑応答 3 分です（1 鈴 10 分，2 鈴 12 分，3 鈴 15 分）。

機器：発表者のパソコンにつないだ液晶プロジェクター（スクリーン 1 枚）で発表していただきます。各自でパソコンをご持参下さい。

- ・パソコンは切換器のミニ Dsub15 ピン外部出力コネクタを介して、液晶プロジェクターと接続されます。Windows 系のパソコンはこのコネクタで接続できますが、アップル系のパソコンの場合は特殊な接続アダ

プターやケーブルが必要なので各自でご用意下さい。

- ・パソコンのバッテリーだけでは液晶プロジェクターに出力できない場合がありますので、必ず電源ケーブルをご用意下さい。
- ・万が一に備え、発表用ファイルをコピーした USB メモリをお持ち下さい。発表用ファイルに静止画・動画・グラフ等のデータをリンクさせている場合は、そのデータも USB メモリに保存して下さい。
- ・ご自分のパソコンをご用意できない方は、事前に大会準備委員会にご相談下さい。
- ・プロジェクターに投影できる書見台が用意できます。パソコンとの切り替えて、写真やその他グラフ等を投影できます。パソコンのソフトに組み込めなかったメモやその他写真等を写しだしたい方は準備委員会まで申し込み下さい。

次演者の待機：次演者は次演者席でパソコンに電源をとり、OS を立ち上げ待機して下さい。

事前の動作確認：事前の動作確認を会場内の試写室（理学部 III 号館 204 室）で行うことができます（図 2）。

(2) ポスター発表

サイズ：ポスター用のパネルの大きさは、縦 119 cm、横 84 cm です（昨年より若干小さいので、ご注意ください）。

貼付用具：強力磁石で留めます。その為の磁石は実行委員会準備します。各自 10 個を用意します。磁石で止めますので、あまり厚手の台紙は使用しないで下さい。また、図や表を別々に印刷して、それを直接にボードに貼りますと多量に磁石が必要になります。それを防止するために必ず上記サイズの大きさの台紙の上に貼り付けてきて下さい。

必要記載事項：ポスターの上部に発表番号、表題、氏名（所属）を記して下さい。

構成：目的、実験（観察）結果、考察、結論について、それぞれ簡潔にまとめた文章をつけて下さい。

写真・図表：それぞれに簡単な説明文を添付して下さい。

フォント・図表サイズ：少し離れた場所からも判読できるようご配慮下さい。

掲示場所：下図（図 4）参照。

掲示時間：3月15日（土）9:00 から掲示できます。3月16日（日）15:00 までに取りはずして下さい。

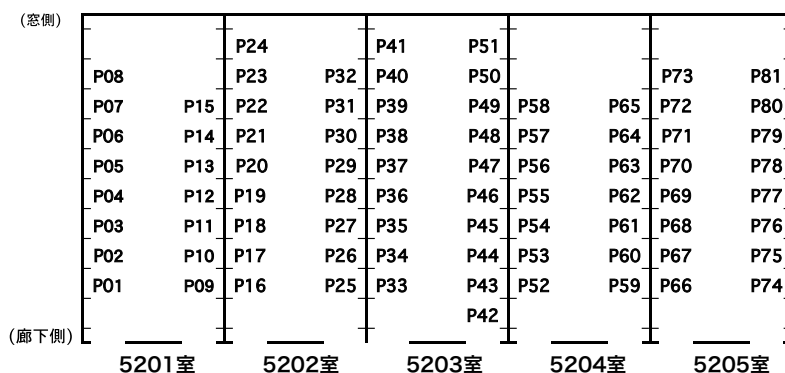


図 4 ポスター掲示場所

11. 喫煙場所について

習志野キャンパス内は建物内及びその他の場所でも全面禁煙です。唯し、図 2 にある印のついた場所では喫煙できることになっています。どうしても喫煙したい場合は許可された場所で喫煙して下さい。

12. 学内 Wi-Fi について

理学部 III 号館と理学部 V 号館では WiFi 接続が出来ます。臨時の ID とパスワードを掲示しますので、ご利用下さい。

13. 問い合わせ先

〒274-8510 千葉県船橋市三山 2-2-1

東邦大学理学部生物学科

日本藻類学会第 38 回大会船橋大会実行委員会 会長 宮地 和幸

Tel & Fax: 047-472-5247, E-mail: miyajika8655@gmail.com

14. 日本藻類学会第 38 回船橋大会準備委員会

宮地 和幸, 宮田 昌彦, 菊地 則雄, 畠田 智, 馬場 将輔, 藤田 隆夫

日本藻類学会第 38 回大会講演プログラム

3月15日(土) 午前の部

9:30 – 12:15/12:30 口頭発表

A 会場 (205 室)		B 会場 (305 室)	
9:30	A01 北海道阿寒湖における市民活動による人工マリモの育成試験 ○若菜 勇 ¹ ・鈴木 芳房 ² (1 釧路市教委・マリモ研, ² 株・海洋探査)	B01 緑藻由来葉緑体をもつ渦鞭毛藻における葉緑体型 <i>gapdh</i> 遺伝子の進化 ○松尾 恵梨子 ¹ ・中山 卓郎 ² ・谷藤 吾朗 ¹ ・岩滝 光儀 ³ ・皿井 千裕 ³ ・稲垣 祐司 ^{1,2} (1 筑波大院・生命環境, ² 筑波大・計算科学センター, ³ 山形大院・理)	
9:45	A02 富士北麓, 本栖湖におけるフジマリモの発見 ○芹澤 (松山) 和世・田口 由美・金原 昂平・米谷 雅俊・渡邊 広樹・芹澤 如比古 (山梨大教育)	B02 珪藻の性フェロモン ○佐藤 晋也 ¹ ・出井 雅彦 ² ・南雲 保 ³ (1 山口大・理工, ² 文教大・教育・生物, ³ 日歯大・生物)	
10:00	A03 日本産ハネモ属の遺伝的多様性について ○上井 進也 ¹ ・小亀 一弘 ² ・Mattio, L. ³ ・羽生田 岳昭 ⁴ ・Anderson, R.J. ⁵ ・Bolton, J.J. ³ (1 新潟大, ² 北海道大, ³ ケープタウン大, ⁴ 神戸大, ⁵ 南ア DAFF)	B03 新規寄生性ミドリムシの系統分類学的研究及び寄生様式の解明 ○加藤 孝一朗 ¹ ・八畑 謙介 ² ・中山 剛 ² (1 筑波大・生物, ² 筑波大・生命環境)	
10:15	A04 ヒラアオノリ配偶子の一過的形質転換系による葉緑体とミトコンドリアの可視化とその動態 ○鈴木 亮吾 ¹ ・伊藤 寛 ¹ ・尾関 海 ¹ ・余 哲 ¹ ・山崎 誠和 ¹ ・豊田 敦 ² ・桑野 和可 ³ ・河野 重行 ¹ (1 東京大・院・新領域, ² 国立遺伝研・生命情報, ³ 長崎大・院・水産)	B04 新奇クリプチスタ生物 SRT149 株の分類学的研究 ○白鳥 峻志・石田健一郎 (筑波大・院・生命環境)	
10:30	A05 緑藻アオサ属藻類近縁 2 種間の異なる塩濃度条件における比較 RNA-seq 解析 正清 友香 ¹ ・市原 健介 ² ・小倉 淳 ³ ・○葛田 智 ¹ (1 お茶大・理・生物, ² 日本女子大, ³ 長浜バイオ大)	B05 新奇 <i>Heliozoa</i> SRT127 株の分類学的研究 ○福田 あずみ ¹ ・白鳥 峻志 ² ・石田 健一郎 ³ (1 筑波大・生物, ² 筑波大・院・生命環境, ³ 筑波大・生命環境)	
10:45	A06 御前崎産エンシュウミル (仮称) の形態および分子系統 ○金原 昂平 ¹ ・葛田 智 ² ・芹澤 (松山) 和世 ¹ ・芹澤 如比古 ¹ (1 山梨大・院・教育, ² お茶の水女子大)	B06 珪藻寄生捕食性原生生物 <i>Hemistasia phaeocysticola</i> の系統分類学的研究 ○矢吹 彬憲・瀧下 清貴 (JAMSTEC)	
11:00	A07 系統保存株を用いた褐藻類の多遺伝子分子系統解析と <i>Platysiphon verticillatus</i> の分類の再検討 ○川井 浩史 ¹ ・羽生田 岳昭 ¹ ・R.J. Andersen ² ・R. Wilce ³ (1 神戸大・内海域セ, ² 米国ワシントン大, ³ 米国マサチューセッツ大)	B07 ラビリンチュラ類 <i>Thraustochytrium globosum</i> の再発見 ○土井 耕作 ^{1,2} ・本多 大輔 ^{2,3} (1 甲南大院・自然科学, ² 甲南大・統合バイオ研, ³ 甲南大・理工)	
11:15	A08 新潟県周辺のアカモク集団の遺伝的構造の解析 ○渡辺 幸平 ¹ ・岡地 恵介 ² ・石川 竜子 ² ・唐木沢 秀之 ² ・上井 進也 ³ (1 新潟大・院・自然科学, ² 新潟県水産海洋研, ³ 新潟大・理・自然環境)	B08 褐藻細胞における金標識抗フコイダン抗体の分布 (A27) 関田 諭子 ¹ ・川井 浩史 ² ・○奥田 一雄 ¹ (1 高知大・黒潮圏, ² 神戸大・内海域)	
11:30	A09 駿河湾・南西海域における磯焼けの誘発・持続要因について 林田 文郎 (東海大)	B09 緑藻 <i>Botryococcus braunii</i> と共生する細菌 BOTRYKO の類縁菌の探索 ○田辺 雄彦 ¹ ・岡崎 友輔 ² ・吉田 昌樹 ³ ・中野 伸一 ² ・渡邊 信 ³ (1 東北大・院・超臨界セ, ² 京大・生態研, ³ 筑波大・院・生命環境)	
11:45	A10 山口県日本海沿岸における 2013 年の藻場衰退現象 ○村瀬 昇 ¹ ・阿部 真比古 ¹ ・野田 幹雄 ¹ ・安成 淳 ² (1 水産大学校, ² 山口水研セ)	B10 <i>Chlamydomonas</i> subg. <i>Amphichloris</i> (緑藻綱, オオヒゲマワリ目) の分類学的見直しとミトコンドリア形態の多様性 ○仲田 崇志 ^{1,2} ・野崎 久義 ³ ・富田 勝 ^{1,2,4} (1 慶大・政策メディア・先端生命, ² 同・先端生命研, ³ 東京大・理, ⁴ 慶大・環境情報)	
12:00	A11 愛媛県宇和海沿岸の海水温勾配に伴う藻場生態系の変化 ○島袋 寛盛 ¹ ・吉田 吾郎 ¹ ・加藤 亜記 ² (1 水研セ瀬戸内, ² 広島大)	B11 配偶子進化モデル系統群「群体性ボルボックス目」の異型配偶子体外接合 野崎 久義 (東京大学・理・生物科学)	

- 12:15 **A12** 沼津市平沢地先深所ブロックにおけるガンガゼ除去後の海藻植生
 ○秋田 晋吾¹・山田 博一²・伊藤 円²・藤田 大介¹ (1 東京海洋大院海洋技術・応用藻類, ²静岡県水技研・伊豆分場)

12:30 – 13:30 昼休み

3月15日(土) 午後の部

13:30 – 14:30 **ポスター発表 (奇数番号) (5201 ~ 5205 室)**

- P01** 富士五湖の水草・車軸藻類と湖水環境の比較
 ○渡邊 広樹¹・土屋 佳奈²・深代 牧子²・佐藤 裕一²・白澤 直敏²・田口 由美²・加藤 将³・芹澤 (松山) 和世²・芹澤 如比古² (1 山梨大・院・教育, ²山梨大・教育, ³神戸大・院・理)
- P03** 広島県宮島で見つかったフラスコモダマシ (車軸藻綱, シャジクモ目) の形態と系統
 ○溝淵 綾¹・坪田 博美²・加藤 将³・坂山 英俊³・関 太郎⁴・向井 誠二²・半田 信司¹ (1 広島県環境保健協会, ²広島大・院・理, ³神戸大・院・理, ⁴広島大学名誉教授)
- P05** 山梨県内のタニシの殻上に着生するシオグサ目藻類
 ○芹澤 如比古¹・渋谷 里夏¹・早川 雄一郎²・神谷 充伸²・芹澤 (松山) 和世¹ (1 山梨大・教育, ²福井県大・海洋生物資源)
- P07** 緑藻オオハネモ葉緑体ゲノム全塩基配列決定と遺伝子クラスター解析
 ○竹内 英司¹・石川 淳²・板垣 正³・高橋 重一¹・中山 克己¹・佐藤 浩之¹ (1 東邦大・理・生物分子, ²感染研・生物活性物質, ³日大・薬)
- P09** ウミクサ類ウミヒルモ属植物の生理生態学的研究
 阿久津 ゆか¹・内村 真之²・Gregory N. Nishihara³・鳥田 智¹ (1 お茶大・ライフサイエンス, ²いであ (株), ³長大院・水環・環東シナ海セ)
- P11** タイの漸深帯上部にみられるハイオオギ属・テングサ類数種の光合成に対する光と温度の影響
 ○渡邊 裕基¹・藤本 みどり¹・Gregory N. Nishihara²・Anchana Prathep³・寺田 竜太¹ (1 鹿大・水, ²長大・院・水環・環東シナ海セ, ³Prince of Songkla 大・理)
- P13** 天然の生育環境におけるヤツタモクとアマモの光合成活性の日周変化
 ○暁谷 伊織¹・Gregory N. Nishihara²・寺田 竜太¹ (1 鹿大・水, ²長大・院・水環・環東シナ海セ)
- P15** 大型褐藻類の選抜育種に使用する新型水槽設備の開発
 ○佐藤 陽一^{1,2}・山口 正希³・平野 智也⁴・福西 暢尚⁵・阿部 知子^{4,5}・河野 重行¹ (1 東大・院・新領域・先端生命, ²理研食品 (株), ³岩手県水産技術センター, ⁴理研イノベーションセンター, ⁵理研仁科センター)
- P17** 東京都における紅藻チスジノリ科の2種フトチスジノリ *Thorea hispida* とオキチモズク *Nemalionopsis tortuosa* の生育地
 ○林 直也¹・田中 次郎¹・櫻井 博²・杉野 隆³ (1 東京海洋大・院・藻類, ²井の頭自然文化園水生生物館, ³葛西臨海水族園)
- P19** 紅藻ケバカダジアの分類と新種セトウチダジア *Dasya enomotoi* について
 ○山岸 幸正¹・太田 雄介²・増田 道夫³・阿部 剛史³ (1 福山大・生命工, ²和研薬, ³北大総合博物館)
- P21** 隠岐諸島中ノ島沿岸で採集されたソゾ属 *Laurencia* の1種
 ○須田 昌宏¹・前田 高志²・四ツ倉 典滋³・阿部 剛史⁴・能登谷 正浩¹ (1 岡部株式会社応用藻類学研究所, ²北海道大・院・環境科学, ³北海道大・北方生物圏フィールド科学センター, ⁴北海道大・総合博物館)
- P23** 北海道南西部の屋外流水水槽で施肥培養した紅藻の体色の変化
 ○小林 美樹¹・柴田 武志²・小杉 知佳³・藤田 大介¹ (1 海洋大・応用藻類, ²せたな町水産種苗育成センター, ³新日鐵住金)
- P25** 愛媛県レッドデータブックにおける藻類の選定状況と課題
 ○小林 真吾¹・藤原 陽一郎² (1 愛媛県総合科学博物館, ²特定非営利活動法人愛媛生態系保全管理)
- P27** 北方領土海藻調査報告
 阿部 剛史 (北大・総合博物館)
- P29** 宮城県沿岸の岩礁藻場生態系における東日本大震災後の遷移
 ○村岡 大祐¹・玉置 仁² (1 水研セ東北水研, ²石巻専修大学)
- P31** 三重県尾鷲湾における藻場の衰退
 ○倉島 彰¹・竹内 大介²・石川 達也¹・岩尾 豊紀³・前川 行幸¹ (1 三重大院・生物資源, ²尾鷲市役所, ³鳥羽市水産研究所)
- P33** クロロフィルの酸化電位から考察した *A. marina* 反応中心モデル
 ○深山大輔¹・家村 達也¹・宮下 英明²・岩本 浩二³・白岩 善博³・渡辺 正⁴・小林 正美¹ (1 筑波大学・物質工学科, ²京都大・院・人間・環境学, ³筑波大・生物化学系, ⁴理科大・総合教育機構)
- P35** *In vitro* での Chl *a* → Chl *d* 変換
 ○反町 優太¹・青木 啓輔¹・伊藤 慎吾¹・仲里 正孝²・宮下 英明³・岩本 浩二⁴・白岩 善博⁴・小林 正美¹ (1 筑波大・物質工学科, ²クロロフィル研究所, ³京大院・人間環境, ⁴筑波大・生命環境研究科)
- P37** *Rhopalodia* 科珪藻における細胞内共生シアノバクテリアのゲノム縮小進化
 ○中山 卓郎¹・神川 龍馬²・谷藤 吾朗³・John M. Archibald⁴・稲垣 祐司^{1,3} (1 筑波大・計算科学研究センター, ²京都大大学院・地球環境学堂, ³筑波大・生命環境系, ⁴ダルハウジー大)

- P39** 霞ヶ浦の浮遊性藍藻
○新山 優子¹・辻 彰洋¹・中川 恵²・高村 典子² (¹国立科学博物館植物研究部, ²国立環境研究所)
- P41** 宮古島から分離された *Tetraselmis* 属株について
○高良 俊彦・Daphne Georgina Faria・須田 彰一郎 (琉大・理)
- P43** 岩上着生地衣カワイワタケ (*Dermatocarpon miniatum*) の分布と共生藻
○竹下 俊治・時澤 味佳 (広島大学大学院教育学研究科)
- P45** 沖縄県内の人工物から分離した気生緑藻類
○大庭 章裕¹・須田 彰一郎² (¹琉大・院・理工, ²琉大・理)
- P47** ミドリゾウリムシ共生藻のマルトース放出機構と共生における役割の解明
○柴田 あいか¹・笠原 賢洋²・今村 信孝³ (¹立命館大学大学院生命科学研究科, ²立命館大学生命科学部, ³立命館大学薬学部)
- P49** 緑藻 *Chlorella* におけるトリアシルグリセロールの蓄積
○長谷川 柚里¹・平井 一帆¹・佐藤 淳史¹・都筑 幹夫^{1,2}・佐藤 典裕¹ (¹東葉大・生命, ²JST, CREST)
- P51** 畜産廃棄物処理水によって生産した微細藻類バイオマスの葉菜類に対する施肥効果
五味 直哉・御園生 拓 (山梨大学・院・医工総合)
- P53** *Nannochloropsis oceanica* IMET1 の増殖とオイル生産への培地中の窒素化合物有無の影響
○遅 永雪¹・陳 峰²・野島 稜加¹・滝口 泰之¹ (¹千葉工業大学, ²メリーランド大学)
- P55** 新潟県佐渡島産海藻アマモ類葉上の付着珪藻相・第2報
○滝本 彩佳¹・鈴木 秀和¹・坂西 芳彦²・阿部 信一郎²・南雲 保³・田中 次郎¹ (¹海洋大・藻類, ²水研セ・日水研, ³日歯大・生物)
- P57** 沖縄県西表島沿岸の砂地に生育する珪藻類の形態学的研究
○原 陽太¹・鈴木 秀和¹・松岡 孝典²・南雲 保²・田中 次郎¹ (¹海洋大・藻類, ²日歯大・生物)
- P59** 海産珪藻 *Phaeodactylum tricornutum* 油滴局在タンパク質に関する研究
○米田 広平¹・吉田 昌樹²・鈴木 石根²・渡邊 信² (¹筑波大学大学院生命環境科学研究科, ²筑波大学生命環境系)
- P61** 蛍光性珪藻被殻の作製とその応用
○堀内 友貴¹・鶴田 浩明²・堀田 純一^{1,3} (¹山形大・院・理工, ²山形大・工, ³JST さきがけ)
- P63** 海産浮遊性珪藻 *Guinardia flaccida* に感染する2つの新規ウイルスについて
○豊田 健介¹・長田 敬五² (¹慶應大・生物, ²日歯大・新潟生物)
- P65** 砂地性渦鞭毛藻 *Katodinium* 属の系統分類学的研究
○山口 愛果¹・渡邊 邦彦²・堀口 健雄²・Mona Hoppenrath³・川井 浩史¹ (¹神戸大・内海域セ, ²北大・院理・自然史, ³ドイツ・センケンベルグ研究所)
- P67** Morphology and phylogeny of three *Amphidinium* species (Dinophyceae)
○Clark Gen・Maiko Tamura・Takeo Horiguchi (Grad. School. Sci., Hokkaido Univ.)
- P69** Armored dinoflagellate strains isolated from seagrass area in Ishigaki Island
○Danang Ambar Prabowo¹・Ooshi Hiraishi²・Shoichiro Suda² (¹琉大・院・理工, ²琉大・理)
- P71** 様々な遺伝子型褐虫藻の遊泳パターンと走光性
○山下 洋¹・小池 一彦² (¹水産総合研究センター西海区水産研究所, ²広島大学大学院生物圏科学研究科)
- P73** クロララクニオン藻 SRT040 株の生活環およびピレノイド微細構造の解明
○藤田 咲也・白鳥 峻志・石田 健一郎 (筑波大・生命環境)
- P75** 二員培養系を用いた淡水性珪藻食アメーバゾア生物のクロロフィル分解機構の研究
○梅谷 貴大¹・柏山 祐一郎^{1,2} (¹福井工大・環境生命, ²JST・さきがけ)
- P77** 日本海対馬暖流域におけるラビリンチュラ類の現存量分布
○高尾 祥丈・北川 雅士・山本 弦喜・稲垣 雅衣・高橋 竜太・兼田 淳史 (福井県立大学・海洋生物資源学部)
- P79** フローサイトメトリーを用いた真核ピコプランクトンの多様性解析
○山口 晴代¹・佐藤 真由美¹・谷内 由貴子²・渡辺 剛²・桑田 晃²・河地 正伸¹ (¹国立環境研究所, ²水研セ東北水研)
- P81** 新潟県越前海岸の底生微細藻類群集が有する塩分に対する反応の多様性
阿部 信一郎 (日水研)

14:35 – 17:15 シンポジウム「若手研究者による緑色藻類研究最前線 – 何が何処までわかったのか? –」(5101 室)

- 14:35 **S00** ー 緑色藻類の魅力 ー
宮地 和幸 (東邦大・理)
- 14:55 **S01** 緑藻で発見された食作用現象と葉緑体の起源について
丸山 真一朗 (基礎生物学研究所・環境光生物学研究部門)
- 15:20 **S02** 群体性ボルボックス目のゲノム比較が解く有性生殖の進化生物学
浜地 貴志 (京都大学大学院理学研究科)
- 15:45 **S03** 緑色海藻アオサ属にみられる汽水・淡水への適応進化
市原 健介 (日本女子大・理)
- 16:10 **S04** 接合藻ミカツキモの種生物学的研究
土金 勇樹 (日本女子大・理)
- 16:35 **S05** 日本産車軸藻類の多様性と保全
加藤 将 (神戸大・院・理・生物学専攻)

17:15 – 18:15 総会 (5101 室)

18:30 – 20:30 懇親会 (学生食堂 パル)

3月16日(日) 午前の部

9:30 – 12:30 口頭発表

A 会場 (205 室)

B 会場 (305 室)

- | | | | | |
|-------|------------|--|------------|---|
| 9:30 | A13 | カイガラアマノリの新産地～山口県厚東川河口域～
○阿部 真比古 ¹ ・村瀬 昇 ¹ ・浅井 健 ¹ ・見越 大次郎 ¹ ・畑間 俊弘 ² ・金井 大成 ² (¹ 水産大学校, ² 山口県水研セ内海) | B12 | ベトナム沿岸に出現した <i>Woloszynskia</i> 類渦鞭毛藻類縁種 2 株の形態と系統
○高橋 和也 ¹ ・和田 実 ² ・石松 惇 ² ・岩滝 光儀 ³ (¹ 山形大・院・理工, ² 長崎大・院・水産・環境科学, ³ 山形大・理・生物) |
| 9:45 | A14 | 近縁種アサクサノリとスサビノリの生育地特定と集団遺伝構造解析
○河口 莉子 ¹ ・菊地 則雄 ² ・岩崎 貴也 ³ ・鳶田 智 ¹ (¹ お茶大・理・生物, ² 千葉博・海博, ³ 東大・総合文化) | B13 | 日本沿岸に出現する珪藻 <i>Skeletonema</i> 属各種の生物地理学と出現特性
○山田 真知子・大坪 繭子・堤 裕紀 (福女大・国際文理・環境科学) |
| 10:00 | A15 | 紅藻ツノマタ類における世代比の季節的変動と世代間における物理・生理特性の比較
井上 直人・鈴木 千賀・吉川 伸哉・○神谷 充伸 (福井県立大・海洋生物資源) | B14 | 東京湾産 <i>Melosira moniliformis</i> と <i>Pleurosira laevis</i> の天然における増大胞子形成の動態・第 5 報
○吉田 野空海 ¹ ・鈴木 秀和 ¹ ・南雲 保 ² ・田中 次郎 ¹ (¹ 海洋大・院・藻類, ² 日歯大・生物) |
| 10:15 | A16 | 連続培養系における褐藻アラメの栄養塩吸収と成長解析
○山下 昂・桑野 和可 (長崎大院・水環) | B15 | 現場海域における珪藻 <i>Chaetoceros tenuissimus</i> と DNA/RNA ウイルスの挙動に影響する環境因子
○木村 圭 ^{1,2} ・外丸 裕司 ¹ (¹ 水研セ瀬戸水研, ² 学振特別研究員 PD) |
| 10:30 | A17 | 大分県姫島産フシスジモクの特異な形態について
鯉坂 哲朗 (京大・院・農) | B16 | 底生性渦鞭毛藻における生活形態依存的に生成される光合成色素の多様性とその機能
○山田 規子 ¹ ・田中 歩 ² ・高市 真一 ³ ・堀口 健雄 ¹ (¹ 北大・院理, ² JST/CREST, ³ 日医大・医) |
| 10:45 | A18 | 牡鹿半島孤嶺浜沿岸において地盤沈下がアラメの成長に与えた影響
○鈴木 はるか ¹ ・青木 智也 ² ・青木 優和 ¹ ・遠藤 光 ¹ ・堀越 彩香 ¹ ・吾妻 行雄 ¹ (¹ 東北大・院・農, ² (株) シャトー海洋調査) | B17 | <i>Chlamydomonas reinhardtii</i> の突然変異株を用いた受精管の空間配置の解析
○宮村 新一 ¹ ・南雲 保 ² (¹ 筑波大・生命環境, ² 日本歯科大・生物) |
| 11:00 | A19 | web 上に公開される物理環境情報を用いたカジメ群落繁茂期現存量の算出
○本多 正樹 ¹ ・中根 幸則 ¹ ・三浦 正治 ² ・長谷川 一幸 ² (¹ 電中研, ² 海生研) | B18 | <i>Parachlorella kessleri</i> に見られるポリリン酸様高電子密度顆粒の同定とその蓄積動態
○大田 修平 ^{1,2} ・吉原 真衣 ¹ ・山崎 誠和 ^{1,2} ・仲野 靖孝 ³ ・許斐 麻美 ³ ・平田 愛子 ¹ ・河野 重行 ^{1,2} (¹ 東大・院・新領域, ² JST-CREST, ³ 日立ハイテック(株)) |
| 11:15 | A20 | 瀬戸内海のホンダワラ類 5 種の窒素含量の季節変化と水中栄養塩濃度の関係
○吉田 吾郎・鳥袋 寛盛・中川 倫寿 (水研セ・瀬戸内水研) | B19 | 超解像蛍光顕微鏡による珪藻のバイオナノイメージング
○堀田 純一 ^{1,2} ・鶴田 浩明 ³ ・堀内 友貴 ¹ ・佐藤 瑞樹 ³ ・木村 賢章 ¹ (¹ 山形大・院・理工, ² JST さきがけ, ³ 山形大・工) |
| 11:30 | A21 | 養殖密度調整および母藻継代による養殖ワカメの生長変化
○佐藤 陽一 ^{1,2} ・藤原 孝之 ³ ・難波 信由 ⁴ (¹ 理研食品株式会社, ² 東大・院・新領域, ³ 岩手県沿岸広域振興局, ⁴ 北里大・海洋生命科学) | B20 | クリプト藻綱 <i>Pyrenomonas helgolandii</i> およびプラシノ藻綱 <i>Pyramimonas parkeae</i> でみられるエジェクトソーム関連タンパク質の同定
○山岸 隆博・川井 浩史 (神戸大・内海域セ) |
| 11:45 | A22 | ワカメは船底で運ばれる? —漁船船底の海藻着生実態と海鷹丸の長期航海履歴水温の解析—
○藤田 大介 ¹ ・藤田 知里 ¹ ・坂口 雅之 ² (¹ 東京海洋大学・応用藻類, ² 東京海洋大学・海鷹丸) | B21 | 微細藻の自転を誘導する鞭毛運動の解析
○石川 依久子・宮脇 敦史 (理研・生命光学) |
| 12:00 | A23 | 静岡県焼津市浜当目に生育する褐藻ヨレモクの周年変化と生産量
○米谷 雅俊 ¹ ・芹澤 (松山) 和世 ² ・芹澤 如此古 ² (¹ 山梨大・院・教育, ² 山梨大・教育) | B22 | ラビリントチュラ類を特徴付けるボスロソームの形成過程の観察
○岩田 いづみ ¹ ・本多 大輔 ^{2,3} (¹ 甲南大院・自然科学, ² 甲南大・理工, ³ 甲南大・統合バイオ研) |

- 12:15 **A24** 沖縄島北部における海藻インベントリ調査と結果の公開方法
 岩永 洋志登¹・岩橋 浩輔¹・伊集 力也¹・玉城 修²・
 山本 広美² (1) (株) 沖縄環境分析センター, (2) (一財) 沖縄美ら島財団)
- B23** バルマ藻 *Triparma laevis* の細胞内微細構造と核分裂様式
 ○山田 和正¹・長里 千香子²・本村 泰三²・一宮 睦雄³・
 桑田 晃⁴・神谷 充伸¹・大城 香¹・吉川 伸哉¹ (1) 福井県大・院・海洋生物資源, (2) 北海道大・北方セ, (3) 熊本県大・環境共生, (4) 水研セ・東北水研)

10:00 – 12:30 **公開講演会「ちば・知られざる藻類の世界発見 ～多様性と絶滅、そして日本の味～」(C101 講義室)**

12:30 – 13:30 昼休み

3月16日(日) 午後の部

13:30 – 14:30 **ポスター発表 (偶数番号) (5201 ~ 5205 室)**

- P02** 愛媛県レッドデータブックに掲載予定の車軸藻類
 ○藤原 陽一郎¹・加藤 将²・坂山 英俊²・福岡 豪³・小林 真吾⁴ (1) 特定非営利活動法人愛媛生態系保全管理, (2) 神戸大学大学院理学系研究科, (3) 愛媛植物研究会, (4) 愛媛県総合科学博物館)
- P04** 緑藻モツレグサ属の系統分類学的研究
 ○水尾 悠起子¹・小亀 一弘¹・宮地 和幸² (1) 北大・院理・自然史, (2) 東邦大・理)
- P06** クロキツタは天然記念物か
 ○小林 真吾¹・高嶋 賢二² (1) 愛媛県総合科学博物館, (2) 伊方町町見郷土館)
- P08** 佐渡島両津湾沿岸におけるアマモ場の群落構造について
 ○坂西 芳彦¹・阿部 信一郎¹・小松 輝久^{2,3} (1) 水研セ・日本海区水産研究所, (2) 東大・大気海洋研, (3) JST-CREST)
- P10** 日本産シマオオギ, ジガミグサ, フタエオオギ (アミジグサ目) の分子系統学的解析
 ○畑 千夏¹・羽生田 岳昭²・寺田 竜太³・川井 浩史² (1) 神戸大・理, (2) 神戸大・内海域, (3) 鹿児島大・水産)
- P12** 桜島袴腰における潮間帯上部に生育するヒジギの光合成活性
 ○國分 翔伍¹・Gregory N. Nishihara²・寺田 竜太¹ (1) 鹿大・水, (2) 長大・院・水環・環東シナ海セ)
- P14** 青森県日本海沿岸で養成した褐藻コレモク種苗の生長
 ○藤川 義一¹・川越 力²・桐原 慎二³ (1) 青森水産総研, (2) 共和コンクリート海藻技研, (3) 青森県庁)
- P16** ミョウテンジカワモズクの生育地における生活史
 ○須貝 郁子¹・熊野 茂² (1) 白子・大坂湧水林保全の会, (2) NIES 客員研究員)
- P18** 隠岐中ノ島明屋産ウップルイノリと同所的に生育するアマノリ属 1 種の形態比較
 ○須田 昌宏・能登谷 正浩 (岡部株式会社応用藻類学研究所)
- P20** 石灰藻ヒライボ (紅藻サンゴモ目) への海洋酸性化影響の水温による違い
 ○加藤 亜記¹・水上 愛²・金 剣³・鈴木 淳⁴・堀田 公明⁵・林 正裕⁵・山本 雄三⁵・川幡 穂高²・野尻 幸宏⁶ (1) 広島大・生物圏, (2) 東京大・大海研, (3) 富山大・理, (4) 産業技術総合研究所, (5) 海洋生物環境研究所, (6) 国立環境研究所)
- P22** 東京湾内湾産ホソアヤギヌの発生学的研究
 ○能勢 敦子・田中 次郎 (海洋大・院・藻類)
- P24** 潮間帯の海藻の力学的特性と細胞壁多糖
 ○椿 俊太郎¹・田中 幸記²・鈴木 慎司³・川俣 茂⁴・平岡 雅規¹ (1) 高知大学, (2) 黒潮生物研究所, (3) 高知県産業技術センター, (4) 水産工学研究所)
- P26** 皇居の藻類
 ○北山 太樹・新山 優子 (国立科博)
- P28** 新潟市沿岸, 特に関屋浜における海藻相調査
 ○本間 珠子・上井 進也 (新潟大・理・自然環境)
- P30** 三宅島の海藻相
 ○高橋 明寛・田中 次郎 (東京海洋大・藻類)
- P32** 環境省モニタリングサイト 1000 沿岸域調査における藻場のモニタリング 2013 年の成果
 ○寺田 竜太¹・川井 浩史²・倉島 彰³・坂西 芳彦⁴・田中 次郎⁵・村瀬 昇⁶・吉田 吾郎⁷・青木 美鈴⁸・横井 謙一⁸ (1) 鹿大・水, (2) 神戸大・内海域セ, (3) 三重大・院・生資, (4) 日本海水研, (5) 海洋大・院・海洋科学, (6) 水大校, (7) 瀬戸水研, (8) WIJ)
- P34** シアノバクテリア KC1 株で機能する Chl *f* の物理化学的特性
 ○小松 悠久¹・藤沼 大幹¹・渡辺 正²・亀山 真由美³・小野 裕嗣³・大久保 智司⁴・宮下 英明⁴・小林 正美¹ (1) 筑波大・物質工学域, (2) 東京理科大学・総合教育機構, (3) 食品総合研究所, (4) 京都大学大学院・人間・環境)
- P36** 健康食品中に含まれる Chl *d*
 ○木村 佳那子¹・藤沼 大幹¹・坪 慎也¹・宮下 英明²・小林 正美¹ (1) 筑波大学・物質工学域, (2) 京都大学大学院・人間・環境)
- P38** *Arthrospira platensis* NIES-39 の制限酵素系とメチラーゼ遺伝子を用いた遺伝子導入の試み
 ○豊島 正和^{1,3}・山岸 隆博^{1,3}・近藤 昭彦^{2,3}・川井 浩史^{1,3} (1) 神戸大・内海域センター, (2) 神戸大・工学研究科, (3) JST-CREST)

- P40** 宍道湖における 2010 年～2013 年のアオコの発生状況について
 ○大谷 修司¹・神門 利之²・崎 幸子³・野尻 由香里⁴・中島 結衣⁴・菅井 隆吉⁵ (1 島根大・教育, 2 島根県環境政策課, 3 島根県廃棄物対策課, 4 島根県保環研, 5 島根県環境保健公社)
- P42** 欧米および日本産 *Myrmecia* (緑藻類, トレボウクシア藻綱) の分類学的検討
 ○時澤 味佳¹・坪田 博美²・半田 信司³・竹下 俊治¹ (1 広島大・院・教育, 2 広島大・院・理・宮島自然植物実験所, 3 広島県環境保健協会)
- P44** シラカバの樹皮を赤く染めるシラカバスマレモ (スマレモ科, アオサ藻綱) の分類・系統学的研究
 ○半田 信司¹・正田 いずみ²・溝淵 綾¹・久米 篤³・小椋 崇広⁴・中原-坪田 美保⁵・坪田 博美² (1 広島県環境保健協会, 2 広島大・院・理, 3 九大・院・農, 4 東京都世田谷区, 5 千葉中央博・共同研究員)
- P46** ツバキの葉裏にできる伏毛の脱落痕にひそむ *Cephaleuros minimus* (スマレモ科, アオサ藻綱)
 ○正田 いずみ¹・溝淵 綾²・半田 信司²・周藤 靖雄³・坪田 博美¹ (1 広島大・院・理, 2 広島県環境保健協会, 3 松江市上乃木)
- P48** クラミドモナスの葉緑体形態に及ぼす阻害剤の影響
 ○植田 達也¹・櫻井 俊宏¹・藤原 祥子^{1,2}・都筑 幹夫^{1,2} (1 東葉大・生命, 2 JST, CREST)
- P50** 緑藻アミドロにおける液胞の発達機構の細胞生物学的解析
 ○田中学・幡野 恭子 (京大・院・人環)
- P52** NIES 藻類コレクションにおける不等毛植物の脂肪酸組成解析
 ○河地 正伸¹・川端 篤¹・加藤 美砂子² (1 国立環境研究所, 2 お茶の水女子大学)
- P54** 分離源の種類による *Aurantiochytrium* および関連分離株の傾向について
 ○瀬戸 雄飛¹・平石 皇志²・須田 彰一郎³ (1 琉大・院・理工, 2 琉大・理・産学官連携研究員, 3 琉大・理)
- P56** 日本沿岸に出現する珪藻 *Skeletonema* 属の分類学的検討
 ○山田 真知子¹・大坪 繭子¹・堤 裕紀¹・岩滝 光儀² (1 福女大・国際文理・環境科学, 2 山形大・理・生物)
- P58** 管状群体を形成する海産付着珪藻 *Partibellus* 属 2 種の形態
 ○宮内 麻由美¹・鈴木 秀和¹・岸 克彦¹・藤田 大介²・南雲 保³・田中 次郎¹ (1 海洋大・院・藻類, 2 海洋大・院・応用藻類, 3 日歯大・生物)
- P60** 蛍光顕微鏡による珪藻被殻形成の観察
 ○鶴田 浩明¹・堀田 純一² (1 山形大・工, 2 山形大・院・理工, 2 JST さきがけ)
- P62** イオン液体を用いた SEM 試料作成の藻類学領域への適応
 ○松岡 孝典¹・佐藤 勉²・南雲 保¹ (1 日歯大・生物, 2 日歯大東京短大・歯科衛生)
- P64** 円石藻 *Pleurochrysis haptonemofera* の石灰化に関する研究: 円石構成成分の機能解析と石灰化関連遺伝子の探索
 ○板山 翔¹・小林 貴恵¹・藤原 祥子^{1,3}・遠藤 博寿^{2,3}・長澤 寛道²・都筑 幹夫^{1,3} (1 東葉大・生命, 2 東大・農, 3 JST, CREST)
- P66** 西太平洋沿岸より分離した底生性無殻渦鞭毛藻 *Amphidinium* 属 32 株の形態と系統
 ○笹井 理美¹・高橋 和也¹・岩滝 光儀² (1 山形大・院・理工, 2 山形大・理・生物)
- P68** 山形県大井沢より分離した淡水産 *Cystodinium* 様渦鞭毛藻 1 株の生活環と系統
 ○高橋 和也¹・齋藤 章博²・原 慶明³・岩滝 光儀² (1 山形大・院・理工, 2 山形大・理・生物, 3 山形大)
- P70** サンゴに共生する褐虫藻の細胞凝縮とクロロフィル代謝分解
 ○鈴木 利幸¹・Casareto Beatriz¹・柏山 祐一郎²・鈴木 款¹ (1 静岡大・創造科学, 2 福井工業大・工)
- P72** クロララクニオン藻 *Bigelowiella natans* における葉緑体-核分裂過程の微細構造観察
 ○秋山 茉莉花¹・藤田 咲也¹・平川 泰久¹・石田 健一郎 (筑波大・院・生命環境)
- P74** *Euglena gracilis* の老化細胞に蓄積する褐色顆粒構造とクロロフィル代謝の関連
 ○川原 純¹・中澤 昌美^{2,3}・洲崎 敏伸⁴・柏山 祐一郎^{1,3} (1 福井工大・環境生命, 2 大阪府大・生命環境, 3 JST・さきがけ, 4 神戸大院・生物)
- P76** *Parietichytrium sarkarianum* 6F-10b 株の生活環
 ○國分 夢¹・中澤 敦¹・小出 昌弘¹・吉田 昌樹¹・井上 勲¹・渡邊 信 (筑波大・院・生命環境)
- P78** 西表島・石垣島沿岸におけるラビリンチュラ類の分離
 土井 耕作^{1,2}・上田 真由美^{1,2}・岩田 いづみ¹・浜本 洋子³・南 紘彰³・本多 大輔^{2,3} (1 甲南大・院・自然科学, 2 甲南大・統合バイオ研, 3 甲南大・理工・生物)
- P80** 色素体を持つ貝類寄生虫パーキンサスにおける植物ホルモンアブシジン酸の解析
 坂本 寛和¹・鈴木 重雄¹・永宗 喜三郎²・北 潔¹・松崎 素道¹ (1 東京大・院医・生物医化学, 2 国立感染研・寄生動物)

14:45 – 15:45/16:30 口頭発表

A 会場 (205 室)

B 会場 (305 室)

- | | | |
|-------|---|--|
| 14:45 | A25 ヒラアオノリ配偶子の凍結保存
○金井 剛志・桑野 和可 (長崎大・院・水環) | B24 クロララクニオン藻の葉緑体分裂タンパク質 FtsZ の機能
○平川 泰久・石田 健一郎 (筑波大・生命環境) |
| 15:00 | A26 ヒジキの生長・成熟に伴うマンニトール, ラミナラン量の変化
○吉見 和輝・松村 茉紀・佐藤 寛之・倉島 彰・前川 行幸 (三重大学・院・生物資源) | B25 淡水産渦鞭毛藻 <i>Gymnodinium aeruginosum</i> におけるクレプトクロロプラストの拡大とクリプト藻オルガネラの分配
○大沼 亮・堀口 健雄 (北大・院・理・自然史) |

- 15:15 **A27** オオハネモによる海洋元素の生物濃縮に関する研究
(A28)
○佐藤 浩之・高橋 重一・中村 早希・中山 克己 (東邦大・理・生物分子)
- 15:30 **A28** ラビリンチュラ類 *Amphifila* 科に属する淡水性の一新種について
(B08)
○高橋 唯樹・吉田 昌樹・井上 勲・渡邊 信 (筑波大・院・生命環境)
- 15:45
- 16:00
- 16:15
- B26** 環境ストレスが誘導する海洋性珪藻 *Phaeodactylum tricornutum* のアリル再編
大井 皓正・○松田 祐介 (関学大・理工・生命)
- B27** 藻類・プロティストのクロロフィル代謝分解と共生進化との関連
○柏山 祐一郎^{1,2,3}・横山 亜紀子⁴・白鳥 峻志⁴・中澤 昌美^{2,5}・鈴木 利幸⁶・土屋 正史⁷・鏡味 麻衣子⁸・柴田 あいか³・早川 昌志⁹・川原 純¹・梅谷 貴大¹・民秋均³ (1福井工大・環境生命, 2JST・さきがけ, 3立命館大・生命科学, 4筑波大・院・生命環境, 5大阪府大・生命環境, 6静岡大・創造科学, 7JAMSTEC・BioGeos, 8東邦大・生命環境, 9神戸大・院・生物)
- B28** 藍藻 *Arthrospira* (*Spirulina*) が培養液中に産生する細胞外多糖凝集体と細菌との会合：無菌系統作出の際の新視点
白石 英秋 (京大・生命)
- B29** 強光培養系と屋外大量培養系によるパラクロレラ変異株のデンプンとオイルの蓄積動態の解析
○竹下 毅¹・山崎 誠和^{1,2}・大田 修平^{1,2}・Vilém Zachleder³・河野 重行^{1,2} (1東大・院・新領域・先端生命, 2JST-CREST, 3Institute of Microbiology, ASCR, Czech Republic)
- B30** 新奇凸凹表面寒天プレート (KTプレート) を用いた珪藻の培養と応用例
○外丸 裕司¹・木村 圭^{1,2}・辻 彰洋³ (1水研七瀬戸水研, 2学振特別研究員, 3国立科学博物館)

15:00 – ワークショップ「淡水藻類の採集, 観察と同定入門」講義編 (5209 室)

3月17日 (月)

10:20–15:00 エクスカーション (大師河原干潟館)